

**政策 35 「国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進」**

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進」は、国際化の進展に対応して、異文化を理解し尊重する気風を根付かせ、国際社会においてコミュニケーションできる国際性豊かな人材の育成と、県民参加型の国際交流・国際協力が活発に行われる環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

**1. 政策 35 の認知度**

**1 1 一般県民**

一般県民全体における高認知度群は 21.8%、低認知度群は 78.3%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（21.6%）が女性（21.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（28.6%）が 65 歳未満（19.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

仙台圏域（27.6%）では、回答者全体と比較して 5.8 ポイント高い。

(%)

政策 35 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.4	20.4	21.8	57.0	21.3	78.3	100.0

性別	男性	1.3	20.3	21.6	56.7	21.7	78.4	100.0
	女性	1.3	20.0	21.3	57.8	20.8	78.6	100.0
年齢別	65 歳未満	1.3	17.7	19.0	58.2	22.8	81.0	100.0
	65 歳以上	1.5	27.1	28.6	54.6	16.8	71.4	100.0

圏域別	仙台	1.9	25.7	27.6	53.7	18.7	72.4	100.0
	仙南	0.0	19.0	19.0	55.8	25.1	80.9	100.0
	大崎	0.9	17.0	17.9	58.3	23.9	82.2	100.0
	栗原	2.7	19.9	22.6	57.9	19.5	77.4	100.0
	登米	1.0	20.5	21.5	58.0	20.5	78.5	100.0
	石巻	1.6	17.5	19.1	60.7	20.2	80.9	100.0
	気山沼・本吉	1.3	21.7	23.0	56.6	20.4	77.0	100.0

有効回答者数 1,601 名

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 37.6%、低認知度群は 62.4%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（57.1%）では 19.5 ポイント、登米圏域（45.5%）  
では 7.9 ポイント高い。

石巻圏域（31.8%）では、回答者全体と比較して 5.8 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 55.6%、低認知度群は 44.5%である。

(%)

政策 35 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	1.2	36.4	37.6	52.7	9.7	62.4	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	31.3	33.0	54.8	12.2	67.0	100.0
	仙南	1.8	40.0	41.8	47.3	10.9	58.2	100.0
	大崎	1.3	35.1	36.4	54.5	9.1	63.6	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	0.0	45.5	45.5	54.5	0.0	54.5	100.0
	石巻	0.0	31.8	31.8	54.5	13.6	68.1	100.0
	気山沼・本吉	0.0	39.5	39.5	55.3	5.3	60.6	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	3.2	52.4	55.6	41.3	3.2	44.5	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 63 名

## 2. 政策 35 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 48.1%、低関心度群は 52.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（49.3%）が男性（46.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（54.7%）が 65 歳未満（45.6%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

仙台圏域（59.6%）では、回答者全体と比較して 11.5 ポイント高い。

回答者全体と比較して、大崎圏域（42.5%）では 5.6 ポイント、石巻圏域（43.0%）では 5.1 ポイント低い。

(%)

政策 35 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
一般県民全体	8.3	39.8	48.1	42.2	9.8	52.0	100.0

性別	男性	9.3	37.2	46.5	43.9	9.5	53.4	100.0
	女性	7.0	42.3	49.3	40.7	10.0	50.7	100.0
年齢別	65 歳未満	7.0	38.6	45.6	44.6	9.8	54.4	100.0
	65 歳以上	11.5	43.2	54.7	35.6	9.6	45.2	100.0

圏域別	仙台	8.9	50.7	59.6	36.2	4.2	40.4	100.0
	仙南	4.7	39.7	44.4	44.0	11.5	55.5	100.0
	大崎	7.3	35.2	42.5	46.4	11.2	57.6	100.0
	栗原	10.6	40.7	51.3	41.4	7.2	48.6	100.0
	登米	11.0	38.8	49.8	38.8	11.5	50.3	100.0
	石巻	7.1	35.9	43.0	48.9	8.2	57.1	100.0
	気山沼・本吉	7.1	38.5	45.6	41.0	13.4	54.4	100.0

有効回答者数 1,620 名

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 52.1%、低関心度群は 47.9%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(72.7%)では 20.6 ポイント、栗原圏域(57.1%)  
では 5.0 ポイント高い。

仙台圏域(46.6%)では、回答者全体と比較して 5.5 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 73.8%、低関心度群は 26.2%である。

(%)

政策 35 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があつた	ある程度関心があつた		あまり関心 がなかつた	関心 がなかつた			
市町村職員全体	7.5	44.6	52.1	41.6	6.3	47.9	100.0	
圏 域 別	仙台	6.9	39.7	46.6	46.6	6.9	53.5	100.0
	仙南	12.5	39.3	51.8	42.9	5.4	48.3	100.0
	大崎	6.4	48.7	55.1	41.0	3.8	44.8	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	9.1	63.6	72.7	18.2	9.1	27.3	100.0
	石巻	4.3	47.8	52.1	34.8	13.0	47.8	100.0
	気山沼・本吉	7.9	44.7	52.6	39.5	7.9	47.4	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	13.8	60.0	73.8	23.1	3.1	26.2	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

### 3. 政策 35 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 30.5%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 65.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 5.0 点で、かい離度は「小」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 17.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.9%と推定できる。

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	50.0	40.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	28.8	(71.2)
満足度 60 点未満の割合		59.3
要検討領域にある回答者全体の割合		30.5

有効回答者数；重視度 1,565 人、満足度 1,552 人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	1565	1552
	欠損値	156	169
平均値		64.23	50.14
平均値の標準誤差		.463	.451
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.320	17.770
分散		335.633	315.761
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	65.0	60.0	5.0
第1四分位数(25パーセントイル)	50.0	50.0	0.0
第3四分位数(75パーセントイル)	75.0	60.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	30.8	(69.2)
満足度 60 点未満の割合		48.3
要検討領域にある回答者全体の割合		17.5

有効回答者数；重視度 334 人、満足度 333 人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		62.43	53.80
平均値の標準誤差		.964	.871
中央値		65.00	60.00
最頻値		60	60
標準偏差		17.620	15.899
分散		310.467	252.770
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	50.00	50.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	60.00
	60	70.00	60.00
	75	75.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.9	(83.1)
満足度 60 点未満の割合		50.8
要検討領域にある回答者全体の割合		33.9

有効回答者数；重視度 65 人、満足度 65 人

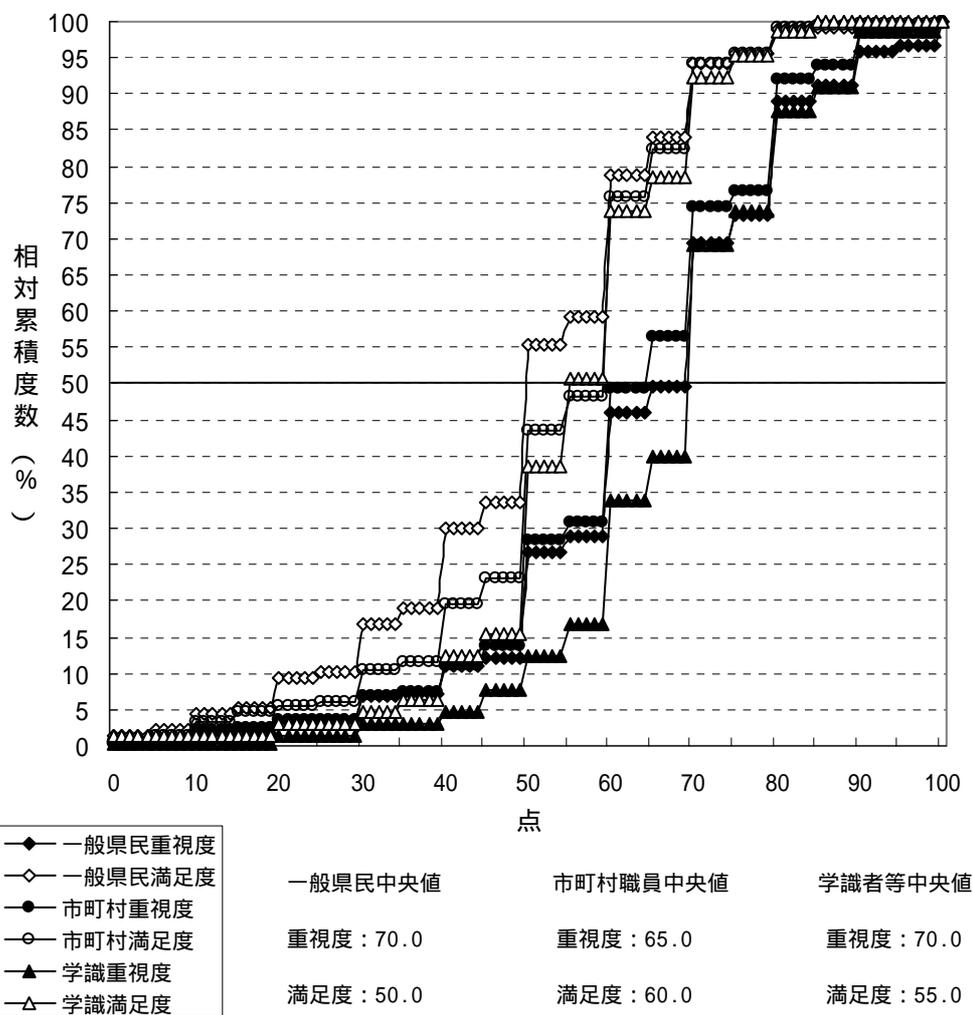
(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	65	65
	欠損値	4	4
平均値		67.85	56.31
平均値の標準誤差		1.791	1.616
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50 <sup>a</sup>
標準偏差		14.442	13.029
分散		208.570	169.748
範囲		80	70
最小値		20	15
最大値		100	85
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	67.00	55.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されません。

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

「政策35 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性(70.0点)が男性(65.0点)よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性(20.0点)が男性(15.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに12.5点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性31.9%、女性29.7%と推定できる。

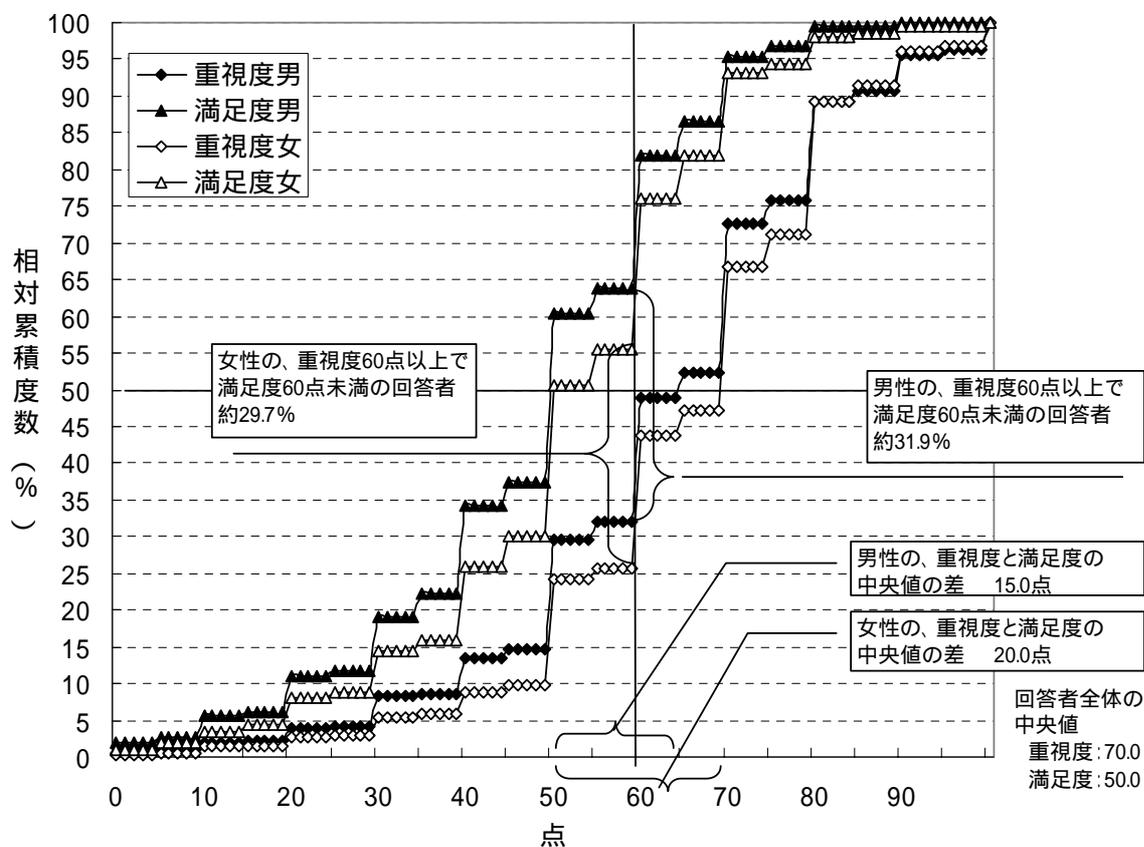
#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	50.0	50.0	55.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	15.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	15.0	12.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	32.0 (68.0)	25.7 (74.3)
満足度 60点未満の割合	63.9	55.4
要検討領域にある回答者全体の割合	31.9	29.7

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	752	745
	欠損値	51	58
平均値		62.89	48.19
平均値の標準誤差		.696	.654
中央値		65.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		19.078	17.839
分散		363.960	318.217
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	75.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	797	791
	欠損値	99	105
平均値		65.41	51.94
平均値の標準誤差		.619	.622
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50 <sup>a</sup>
標準偏差		17.471	17.508
分散		305.230	306.514
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（65.0 点）が 65 歳以上（70.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（15.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも小さい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（15.0 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 29.2%、65 歳以上 35.5%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

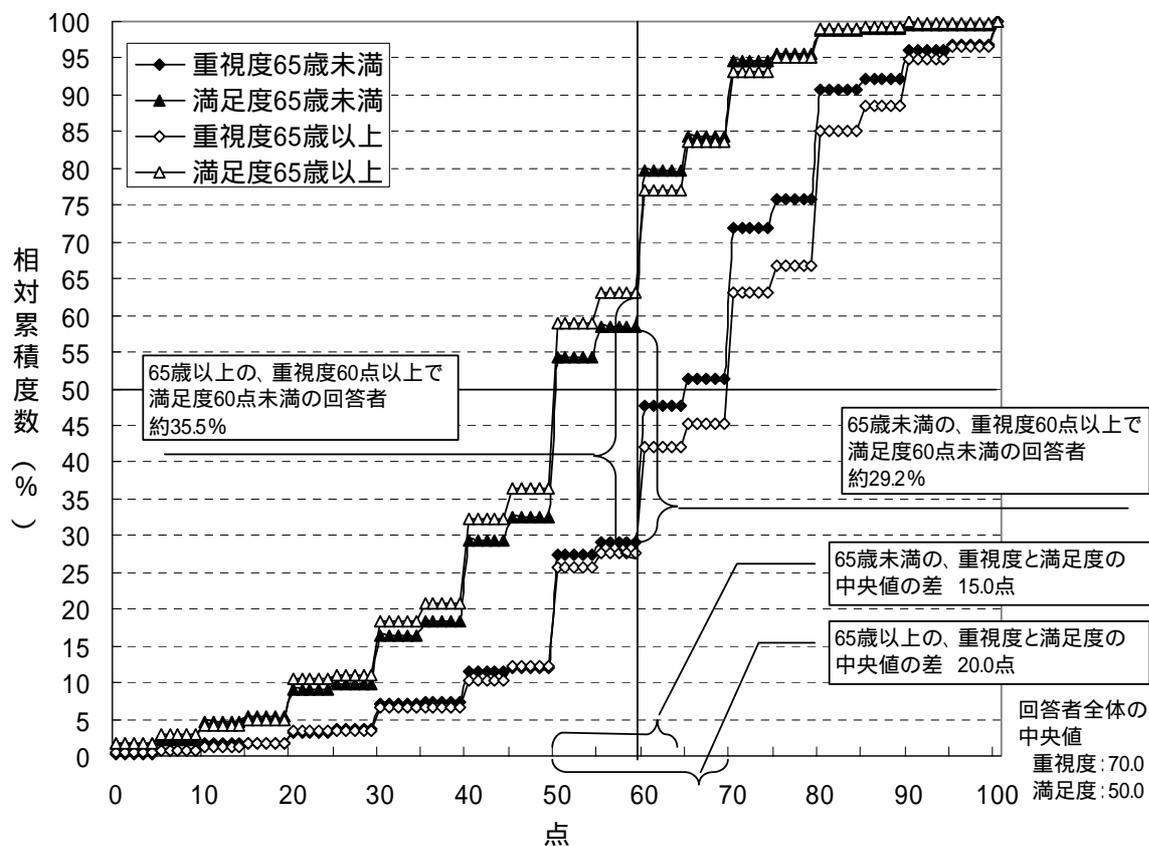
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	50.0	50.0	50.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	10.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	15.0	12.5	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	29.2 (70.8)	27.7 (72.3)
満足度 60 点未満の割合	58.4	63.2
要検討領域にある回答者全体の割合	29.2	35.5

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	1165	1156
	欠損値	75	84
平均値		63.60	50.34
平均値の標準誤差		.529	.519
中央値		65.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.065	17.648
分散		326.358	311.463
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	75.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策35重視度	政策35満足度
度数	有効	382	378
	欠損値	75	79
平均値		65.89	49.37
平均値の標準誤差		.967	.932
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.897	18.121
分散		357.080	328.376
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域(62.5点)が回答者全体(70.0点)よりも7.5ポイント、大崎圏域(65.0点)、石巻圏域(65.0点)、気仙沼・本吉圏域(65.0点)の3圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(13.8点)、仙台圏域(12.5点)、栗原圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)、仙南圏域(10.0点)の5圏域が回答者全体(15.0点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(7.5点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(70.0点)が回答者全体(65.0点)よりも5ポイント高く、石巻圏域(55.0点)が10ポイント、気仙沼・本吉圏域(60.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域(50.0点)が回答者全体(60.0点)よりも10ポイント、仙台圏域(55.0点)、仙南圏域(55.0点)、登米圏域(55.0点)の3圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域(15.0点)が回答者全体(12.5点)よりも大きく、気仙沼・本吉圏域(10.6点)、栗原圏域(10.0点)、石巻圏域(7.5点)、仙南圏域(6.9点)、大崎圏域(5.0点)の5圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、登米圏域(10.0点)、石巻圏域(10.0点)、仙南圏域(7.5点)、大崎圏域(7.5点)、気仙沼・本吉圏域(6.3点)の7圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	62.5	65.0	70.0	70.0	65.0	65.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	12.5	15.0	20.0	20.0	10.0	15.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	50.0	55.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0
	かい離	10.0	15.0	10.0	10.0	15.0	10.0	5.0	10.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	70.0	80.0	80.0	80.0	75.0	77.5
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	15.0	17.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	15.0	12.5	10.0	15.0	12.5	15.0	12.5	13.8
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	65.0	65.0	62.5	67.5	65.0	70.0	55.0	60.0
	満足度	60.0	55.0	55.0	60.0	60.0	55.0	50.0	60.0
	かい離	5.0	10.0	7.5	7.5	5.0	15.0	5.0	0.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	50.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0	50.0
	満足度	50.0	45.0	45.0	50.0	50.0	50.0	40.0	47.5
	かい離	0.0	5.0	15.0	10.0	10.0	0.0	10.0	2.5
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	75.0	80.0	73.8	70.0	80.0	75.0	65.0	71.3
	満足度	60.0	65.0	60.0	65.0	70.0	70.0	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	13.8	5.0	10.0	5.0	5.0	11.3
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	15.0	6.9	5.0	10.0	12.5	7.5	10.6
	満足度	5.0	10.0	7.5	7.5	10.0	10.0	10.0	6.3

#### 4. 政策 35 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」(43.5%) である。

第 2 位は施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」(25.1%) である。

第 3 位は施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」(20.6%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」(41.6%) である。

第 2 位は施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」(29.5%) である。

第 3 位は施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」(15.5%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」(41.5%) である。

第 2 位は施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」(26.2%) である。

第 3 位は施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」(20.0%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである、

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 7 圏域では施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」、仙台、栗原の 2 圏域では施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」である(仙台圏域では施策 1 と施策 4、栗原圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 2 位になっている)。

第 3 位は、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」である。

市町村職員では、

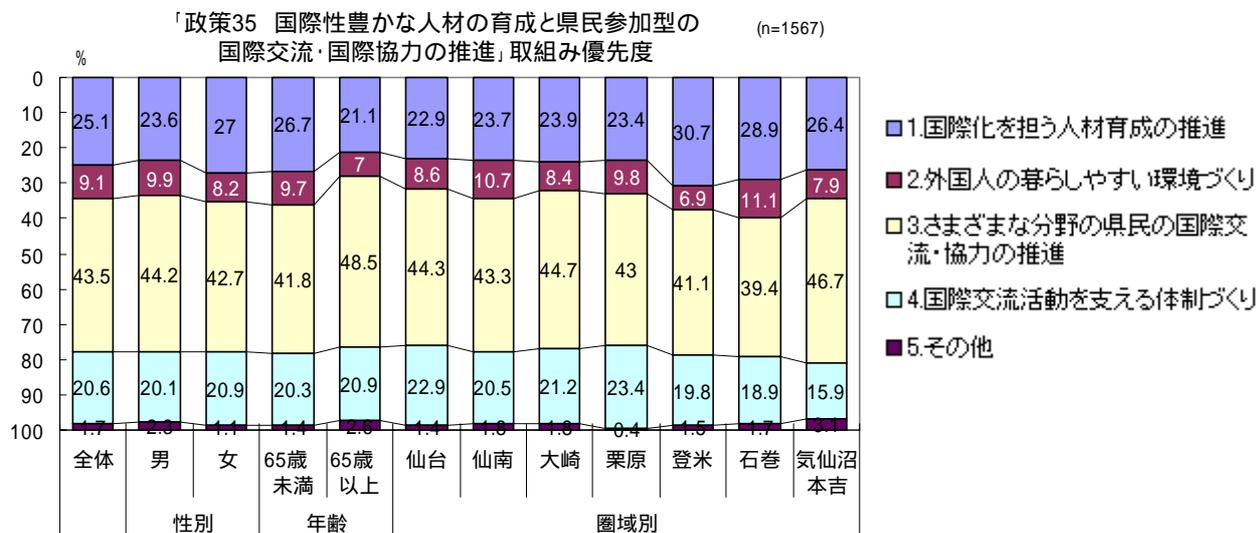
第 1 位は、仙台、仙南、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」、大崎圏域では施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」、大崎圏域では施策 1 「国際化を担う人材育成の推進」、栗原圏域では施策 2 「外国人の暮らしやすい環境づくり」、石巻圏域では施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」である。

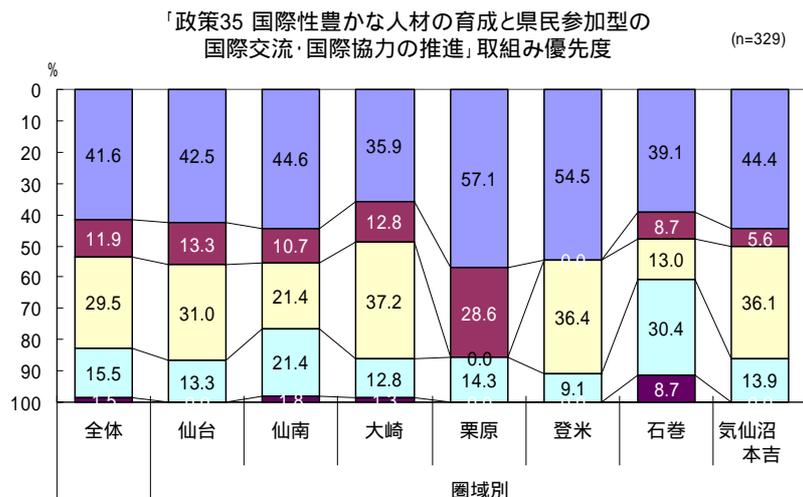
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 4 「国際交流活動を支える体制づくり」、仙台、大崎の 2 圏域では施策 2 「外国人の暮らしやすい環境づくり」、石巻圏域では施策 3 「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」である（仙台圏域では施策 2 と施策 4 が、大崎圏域では施策 2 と施策 4 が共に第 3 位になっている）。

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

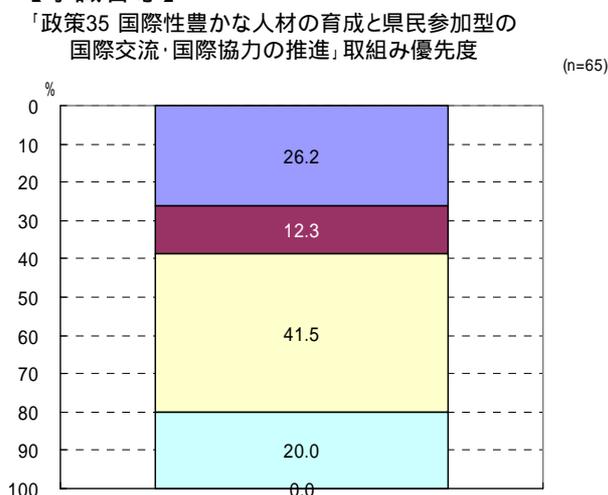
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.国際化を担う人材育成の推進	25.1	23.6	27.0	26.7	21.1	22.9	23.7	23.9	23.4	30.7	28.9	26.4
2	2.外国人の暮らしやすい環境づくり	9.1	9.9	8.2	9.7	7.0	8.6	10.7	8.4	9.8	6.9	11.1	7.9
3	3.さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	43.5	44.2	42.7	41.8	48.5	44.3	43.3	44.7	43.0	41.1	39.4	46.7
4	4.国際交流活動を支える体制づくり	20.6	20.1	20.9	20.3	20.9	22.9	20.5	21.2	23.4	19.8	18.9	15.9
5	5.その他	1.7	2.3	1.1	1.4	2.6	1.4	1.8	1.8	0.4	1.5	1.7	3.1

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.国際化を担う人材育成の推進	41.6	42.5	44.6	35.9	57.1	54.5	39.1	44.4
2	2.外国人の暮らしやすい環境づくり	11.9	13.3	10.7	12.8	28.6	0.0	8.7	5.6
3	3.さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	29.5	31.0	21.4	37.2	0.0	36.4	13.0	36.1
4	4.国際交流活動を支える体制づくり	15.5	13.3	21.4	12.8	14.3	9.1	30.4	13.9
5	5.その他	1.5	0.0	1.8	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.国際化を担う人材育成の推進	26.2
2	2.外国人の暮らしやすい環境づくり	12.3
3	3.さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	41.5
4	4.国際交流活動を支える体制づくり	20.0
5	5.その他	0.0

政策 35 「国際性豊かな人材の育成と  
県民参加型の国際交流・国際協力の推進」